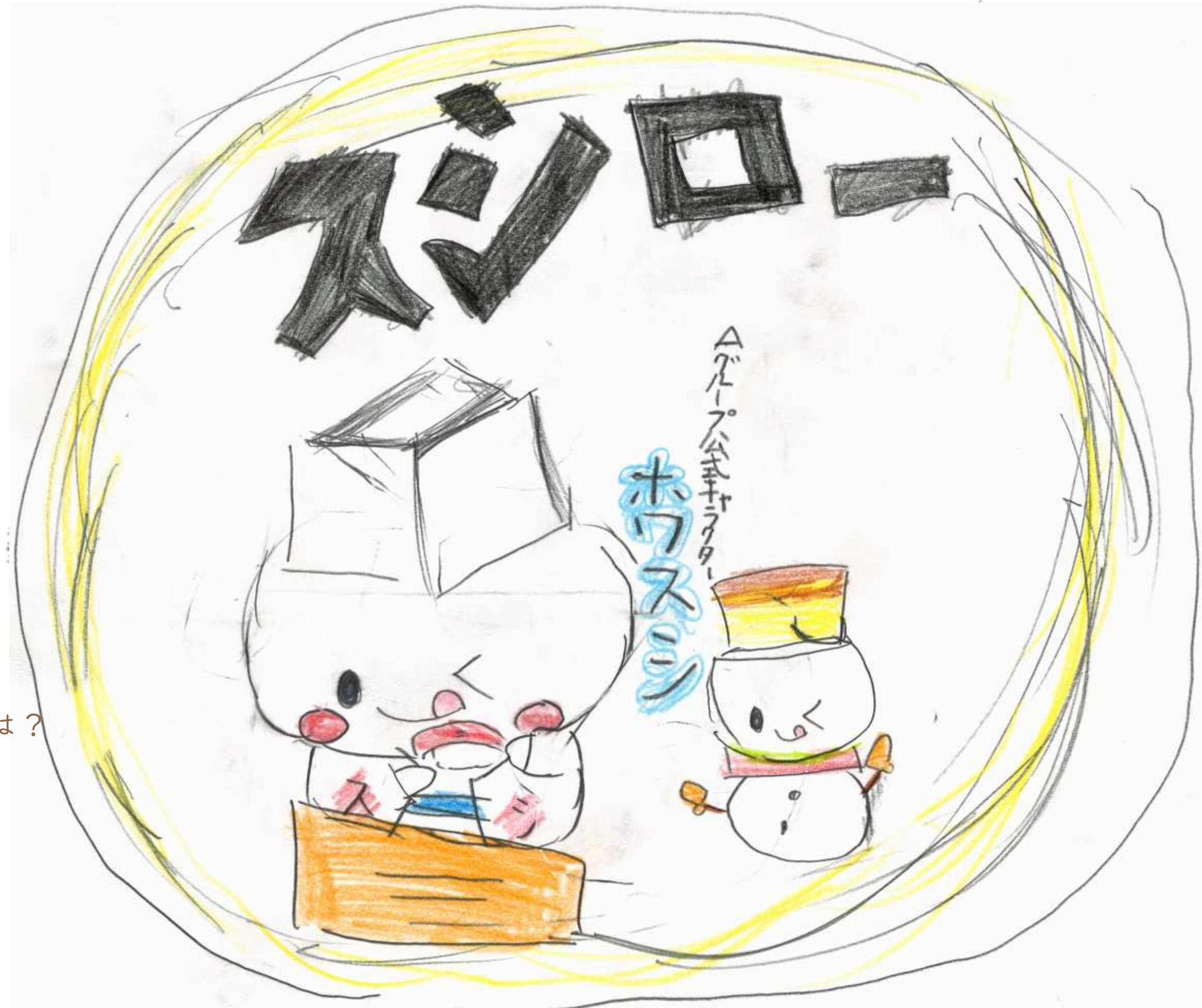


イノベーションmiyaユース会議

チーム

スシローの雪の宿

どんな性別でも、夢に向かって自分らしく
生き生きと活躍することができる社会にするには？



選んだテーマ

「トイレ問題」

「性差別」

チームで出た意見

男性にも女性にもアンケートを取ってより良いトイレづくりをするためにアンケートを取る。



トイレをするときには待ち時間や急いでる・疲れている・お腹がすいてしまうなどの問題をどう解決すればいいか



チームで出た意見

様々な人が使いやすい多目的トイレの数を増やすとともに，市や県ごとにアンケートを取る活動(前述)で，地域の悩みに合った宇都宮の人が使いやすい宇都宮オリジナルトイレを作る。



イベントによって男性用と女性用が切り替わるトイレを作る。

トイレの機能ボタンに触れると，その機能の名前が読み上げられる機能を付ける。



必要なこと



- ・ 男性トイレと女性トイレ，多目的トイレだけでなく，イベントなどでの女性の悩みを解決する男女切り替えトイレを設置する。
- ・ アンケートによって，宇都宮や栃木の人の悩みに対応した宇都宮/栃木オリジナルトイレを作る。
- ・ (上二つの工夫をたくさんの人に体験してもらえるように)宇都宮市に毎月1000円以上の募金をすることで，トイレの待ち時間で自分の好きなデジタル書籍をVRで読めるようにする。

まとめ

自分の周りの人の価値観を
理解し、性別などは個性や
価値観に関係ない。
ありのままの自分でよい。

イノベーションmiyaユース会議

チーム先入観

どんな性別でも、夢に向かって自分らしく
生き生きと活躍することができる社会にするには？



選んだテーマ

「性差別」

チームの意見 と解決策



チームで出た意見

①そもそも男性、女性で分かれているのがおかしい。

②ボックス的なもの。

様々な場面で選択肢を増やす。



チームで出た意見

先入観が**無意識のうちに**刷り込まれてしまう。

学校などでの男女の役割の先入観を作ってしまうようなことを防ぐ。

性差別に関する様々なテキストなどの**情報が古くなってしまう、**

「かがやき」

定期的な変更を行う。



チームで出た意見

管理職の男女比率が偏っている。

様々な性別の人を平等に起用する。



イノベーションmiyaユース会議

チームゆあひみ★★☆≡

どんな性別でも、夢に向かって自分らしく
生き生きと活躍することができる社会にするには？



選んだテーマ

「生理休暇」

チームで出た意見

制度はあるけど取りにくい

恥ずかしい
上司が男性だといにくい



チームで出た意見

生理を軽く見られがち

この制度の対象
女性のみ
女性には体調に顕著に現れる
パフォーマンスが下がる



必要なこと

- ・休暇を取りやすい名称に変える

名称案（男女ともに良いイメージを持つことができる名称）

①ハッピースマイル休暇

②プリンセス休暇

③なまり休暇

④ピリオド休暇

企業ごとに名称を選択できるように

- ・男性の理解促進のための取組実施

生理痛体験→説明会

対象：管理職の男性、男子学生（小学校高学年～大学生）、モテたい男性

機会：研修、保険の授業で→女性と共有、婚活イベント前の女性を理解するための講習会

イノベーションmiyaユース会議

チーム友達

どんな性別でも、夢に向かって自分らしく
生き生きと活躍することができる社会にするには？



選んだテーマ

「性差別」

→校則

性差別というキーワードを聞いて男女でルールが違うものについて考えた。
そこで校則という意見が出て校則には性差別が多く存在するのではと考えた。

課題

- ・ 自由ではない
- ・ 男女で違う
- ・ (例) 男 → 髪型 → 男は長くしたい
- ・ (例) 女 → スカート → ズボン



疑問

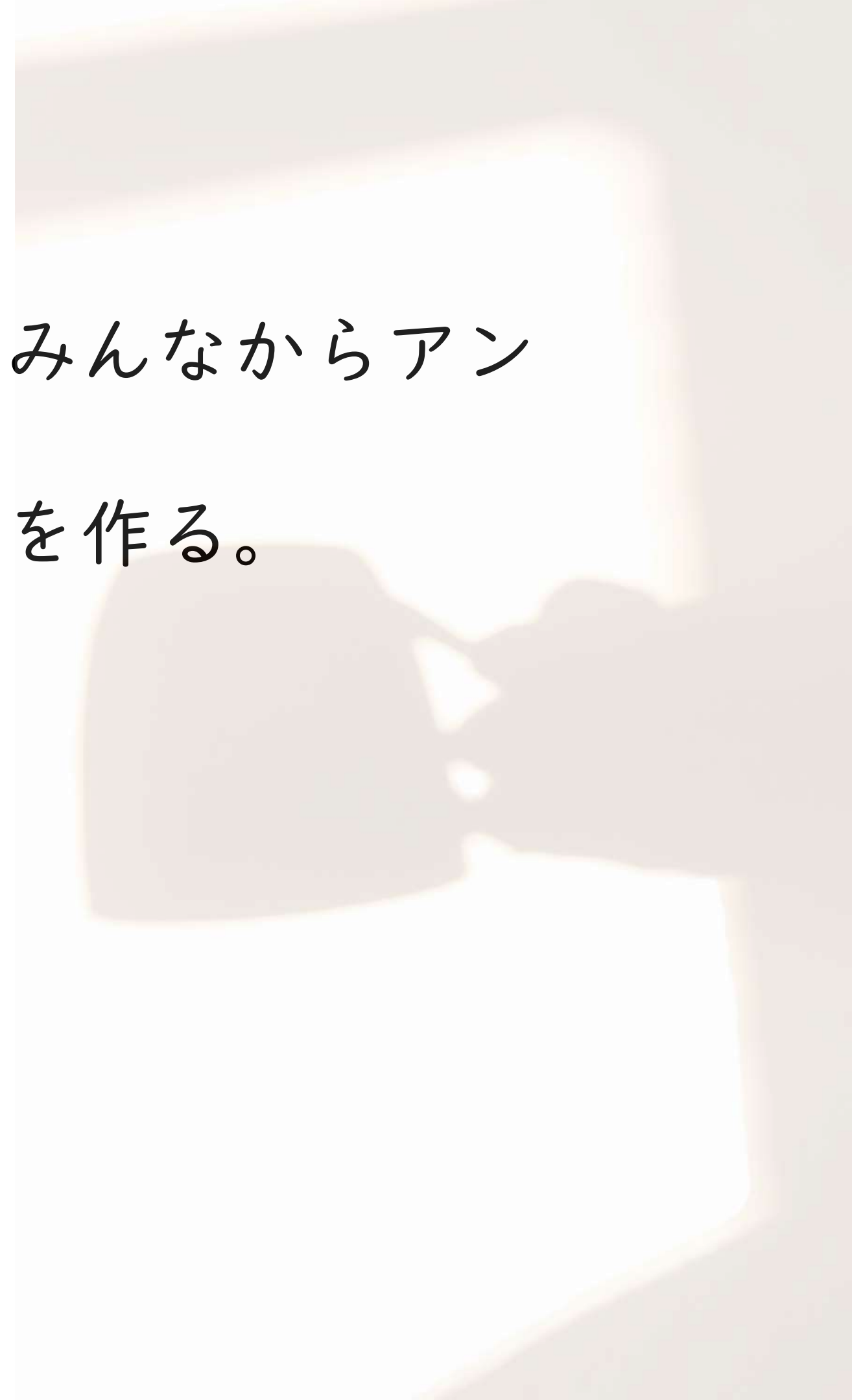
- ・なんで男は髪を長くしてはいけないのか？
- ・なんで女子はスカートでなければいけないの？
- ・そもそも校則ってどんな理由・目的は何なのか？

解決策

校則の改善の柔軟化

→校則をみんなで考える。例えば生徒のみんなからアンケートを取り、反映させる。

反映させるために、話し合いができる場を作る。



イノベーションmiyaユース会議

チームチョコ 大福

どんな性別でも、夢に向かって自分らしく
生き生きと活躍することができる社会にするには？



選んだテーマ

「生理休暇」

「性差別」

チームで出た意見

「性差別」

男性と女性で怒られやすさが違う。
働き方の違いがある。
母＝専業主婦のイメージが強い。

「生理休暇」

個人差が激しい。
医師の判断や自己判断が難しい。
男性特有の体調不良がない？



必要なこと

性差別

①子育ては男女ともに行うということを知ってもらう

[対象]

○10代～20代の若者

[方法]

○説明会の実施（クイズ形式）

内容：現状の子育て観念とそれに付随する問題

②条例や法律として制定・改正

○カスハラ情勢の策定

○寡婦年金の改正

※寡婦年金、夫（死亡）で妻（専業主婦）が年金受給できる

妻（死亡）で夫（専業主夫）が年金受給できない

→法律が専業主婦を助長していることに繋がる。

必要なこと

生理休暇

①名前を変える(これより男女ともに使用可能)

→「サポート制度」に変える

○男女ともに休むハードルを下げる

○働き方を選べる(体調に合わせて)

例:短時間勤務

○自己判断で使用できる

②自分の体調に合わせた授業スタイルを選べる

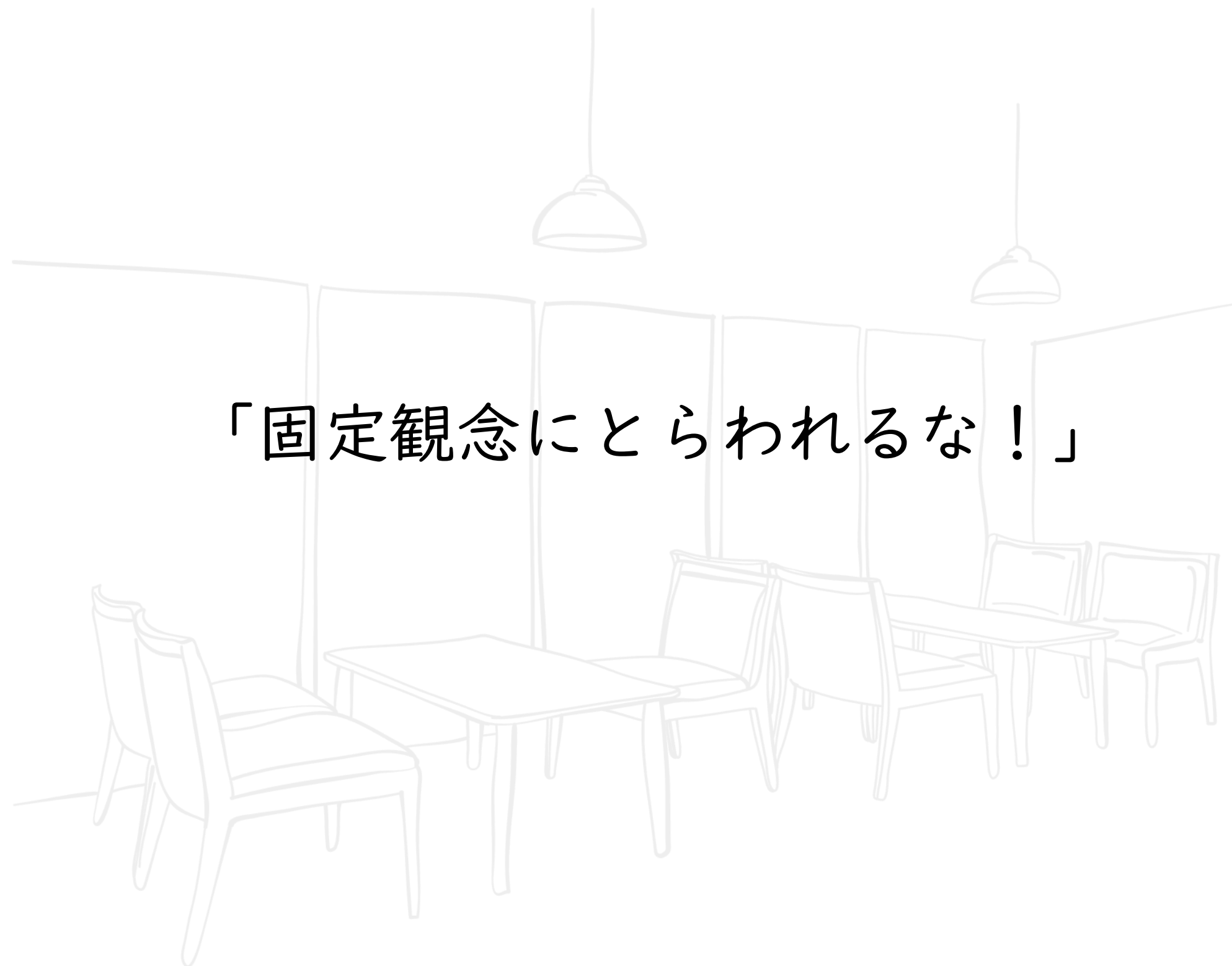
○別室または家でのオンライン授業

例:ぜんそく、鼻炎などによって周りに気を遣う

○出席確認が難しい

→リアクションペーパーやカメラオンなどの導入。

「固定観念にとらわれるな！」



イノベーションmiyaユース会議

チーム岩崎F

どんな性別でも、夢に向かって自分らしく
生き生きと活躍することができる社会にするには？



選んだテーマ

「生理休暇について」

チームで出た意見

宇都宮市の小・中・高校で男女ともに休暇を取れる制度を作る。

学校で生理に対する休暇制度がない。
アンケートより休暇制度を作る必要性があると思われる。
しかし、**女性限定では不公平が生じる。**

具体案

男女ともに最大3日程度休めるようにする。

対策

授業を録画し後日見返せるようにする。



チームで出た意見

懸念点

職員の負担の増加

市の援助として、機器の配布や情報の収集、共有を行う仕組みを求める

宇都宮市男女共同参画推進条例によると

第3条 男女共同参画の、次に掲げる事項を基本として行われなければならない。

(1)男女が、個人としての尊厳が重んじられ、性別による差別的な取り扱いを受けることなく、個人として能力を発揮する機会が確保されること。



チームで出た意見

女性活躍推進課

女性が**あたかも活躍していない**、
できていないということを暗に示
してしまっているのではないか。

女性に注目しすぎではないのか
→宇都宮市の取組の「女性リー
ダーを育成する講座」が**男性に対
する性差別**になってしまうのでは
ないか。

以上のことを踏まえて
宇都宮市に対する根本的な提案と
して、女性活躍推進課の名称変更
を求めます

提案

女性活躍推進課



市民活躍推進課

総合活躍推進課

新設されたばかりの女性活躍推進
課とのことですがご検討のほどよ
ろしくお願いいたします！

